

皆さんにもっと知って欲しい！

気候変動への「適応」

おおさか気候変動適応センター

大阪がもっと
暑くなる？

暑くなる とさまざまな分野で影響が...

農業



作物の品質低下

水産・水環境



海水温の上昇

自然



南方系生物の分布拡大

成果は裏面で!



健康



熱中症の増加

★国立環境研究所、環農水研の研究チーム

生活



季節感の喪失

★大阪管区气象台

経済



新たなビジネス機会の創出

★大阪産業局

災害



自然災害の頻発

★近畿地方気候変動広域協議会
(京都大学防災研究所、大阪府立大学等で構成)

★各分野における連携先と協力して、
情報収集・分析・発信を行っています

環農水研の研究チームと連携して適応策の調査・研究を行っています

これらの影響の被害をやわらげたり、
これらの影響を新たな活動に活かすことを「適応」といいます

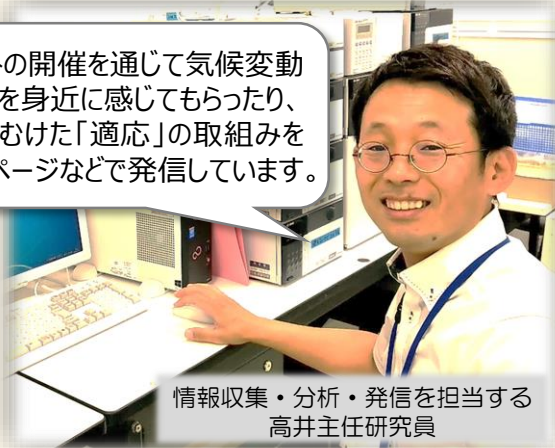
おおさか気候変動適応センター*は

気候変動に関する情報収集・分析・発信の拠点です

* 大阪府からの指定により環農水研が設置・運営

おもな取組み (情報収集・発信)

イベントの開催を通じて気候変動の影響を身近に感じてもらったり、将来にむけた「適応」の取組みをホームページなどで発信しています。



情報収集・分析・発信を担当する
高井主任研究員



自然観察をとおして、温暖化の影響を体験するイベント



環境省「令和2年度国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務」の成果集



<https://lccac-osaka.org/>

環農水研 適応



地方独立行政法人
大阪府立

環境農林水産総合研究所

Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture

気温上昇によるぶどうの着色不良を改善！

気温が上昇すると、ぶどうの果皮色が品種本来の色にならない着色不良が起こり、商品価値が下がります。

この対策技術として、ぶどうの幹や主枝の樹皮を環状に剥ぎとり、**栄養成分を果実に集中させる環状はく皮**という方法がありますが、正しい方法やコツを教えてくださいという声が多くありました。

そこで、環農水研では、**環状はく皮の正しい作業手順をわかりやすく動画にまとめて配信しました**。スマートフォンで視聴しながら作業できるので、多くの農業者に活用いただいています。

環状はく皮 ～作業風景～



環状はく皮は、適切に実施すると、着色不良が改善されます。この動画を参考にして、実施してみてください！
(葡萄グループ 上森研究員)

作業の手順を動画で分かりやすく！



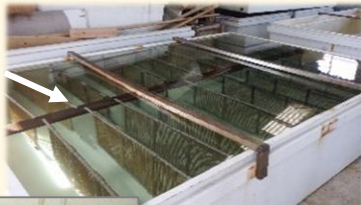
YouTubeで公開中！



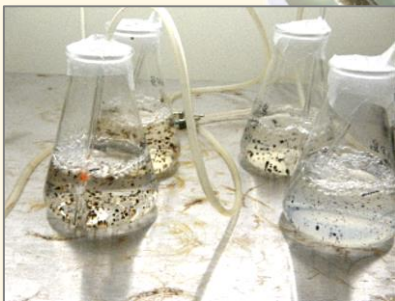
暑さを避けて大阪湾で美味しいワカメを養殖する！



水槽内のたこ糸の上で育てられるワカメ



大阪での一般的なワカメの養殖方法は、4～10月の間は陸上の大型水槽で育成し、11月頃に幼芽が5mm程度に育つと海に移して本養殖を開始し、2～4月に1m以上に生長したところで収穫します。ワカメは夏の暑い時期を「配偶体」と呼ばれる微小な状態で過ごすのですが、水槽内の水温が27℃を超えると枯れてしまいます。



水温・光量を調整しながら育成

環農水研では試験管やフラスコ内で配偶体を育てる「フリー配偶体」技術を活用し、夏の高温を涼しい実験室内で回避して秋に良質なワカメ種苗を生産する方法を漁業者と協力しながら開発しました。

培養液中で増殖するワカメのフリー配偶体



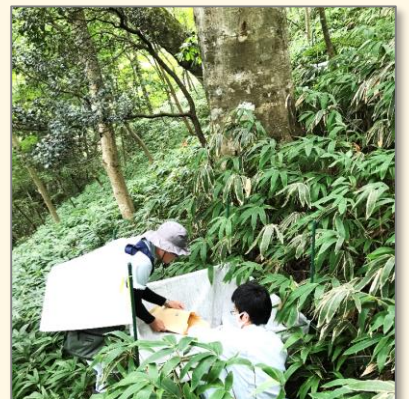
大阪湾で育つワカメって本当においしいんですよ。漁業者さんとともに、皆様の食卓に毎年安定して大阪湾産のワカメをお届けできるよう**養殖技術の改良を目指します**。
(水産支援グループ 山中研究員)

気候変動は、**生物多様性に迫る危機の1つ**です。

大阪府の約1/3の面積を占める森林は、きれいな水や空気をはぐくみ、水害や土砂災害を防ぐなど、様々な生物多様性の恵みによって私たちの暮らしを支えています。近年、その維持更新に気候変動が与える影響について心配されています。

環農水研では、ブナ林などの森林の調査を行っています。樹木から落下した種子（どんぐり）の個数や生育状況などを調べ、**種子の生産量や健全度を明らかにし、ブナ林の保全活動に役立てています**。

自然の変化を見逃さない！



生きものが暮らし、**防災の役割も担う**貴重な森林。大阪の貴重な生態系をこれからも見守っていきます。
(自然環境グループ 幸田主任研究員)

